



つらいことも楽しむ

カウンセリング指導員 日向 克己

休日、久しぶりに30kmを走りました。早朝4時に起きると、何となく足が重くて、親指の付け根が痛みます。「走れるかな…今日はやめとこうかな」と考えましたが、Tシャツと短パンをすぐに取り出し、バッグに着替えとお菓子と小銭を入れて、手早く準備を済ませました。10分ほど走ると、お腹が痛む気がして「途中で走れなくなったら…帰れるかな」と、こころはずっと不安をつぶやきます。



川沿いの道に入り、草の緑や水の冷氣、土の匂いを感じました。体が少しずつ温まり、並木道をテンポよく走れている感じ。調子に乗ってペースが上がると、「ゆづり行くんだあ」と最近テレビで聞いた宮城弁風に言ってみます。息は落ち着き、余分な力が抜けました。散歩をする人がちらほらと見られます。「よし、今日は行きかう人全員にあいさつをしよう」と決めて、息が荒くなくても、無理して「おはようございます」と声を張ります。気付いたのは、相手の顔がよく見える距離まで近付いたら、おじぎをして相手の注意をひいた後にあいさつすると、相手も返しやすいということ。7人まではやり取りができて、少し足が軽くなりました。しかし、次の自転車の人には、言葉が出ず、通り過ぎてしまいました。「夢中で自転車こいでるし…あいさつは返って来ないかなあ」とためらう気持ちがありました。

20kmを過ぎると、足が上がりなくなりました。道路の微妙なでこぼこに足が引っかかります。「あの橋を渡ったら歩こう」と目標を定めたり、前に走っている人に追い付くことを目指してみたりします。

あと2km。全身は疲れていましたが心は弾んでいました。「最後だからペースを上げよう」と、腕を大きく振りました。そして、30km。あらかじめ決めていたゴール地点は銭湯でした。私の大好きなサウナに入って、もう一汗かきました。そして、「次はどのコースで30km走ろうかな」とサウナの中で考えました。

私にとって、走ることはつらくて楽しいことです。自分と向き合うことであり、元気になれることであり、楽しみを見付けられることです。…学校も同じだと思います。

朝早くから行かなければならないし、授業は分からないことが出てくるし、友達との関係はころころ変わるし、部活動は上手いかわないことの方が多いし、学校行事では、様々な役割を果たさなければならぬし、…つらいことばかりに思えるかもしれませんが、学校でしか味わえない楽しみもあります。

- ◎しばらく声を掛けづらかった友達に思いきって「おはよう」と言ったら笑顔で返してくれた。
- ◎苦手な社会科の自主学習ノートを作って1か月取り組み続けたら、期末考査で平均点より5点多くとれた。
- ◎バスケットボールで、いつもシュートを決められていた1対1の相手に何度も挑戦して守りきれた。
- ◎給食で、骨を取るのが面倒だからこれまで食べなかった魚を食べてみたら、意外とおいしかった。
- ◎体育大会のマスコット係で、デザインが決まるまで時間は掛かったけど、仕上がったらみんなで喜べた。

「学校がつまらない」「何か楽しいことないかなあ」と立ち止まっているみなさんに伝えたい。自分から楽しいことを見付けるのは、学校を何倍も、何十倍も楽しくします。

大切なのは、自分から動いてみることです。つらく思えることも自分でやると決めたことなら、続けてみましょう。失敗してもいい



んです、またやり直しましょう。学校の先生方はがんばっているみなさんを見るのが大好きです。いっしょに学校を楽しみましょう。必ずあなたを応援します。



7月の行事予定



1日(木) 学校訪問研修会(給食後、下校)
13日(火) 体育大会結団式、選手決め
15日(木) 学校納金口座振替日

16日(金) 学期末懇談会(～20日)
21日(水) 終業式

*夏季休業は8月26日(木)までです。



「眠れる獅子 覚醒プロジェクト」 始動！

校長 高瀬 知郎



今年度、本校の教職員が一致団結して取り組んでいることの一つが「学力向上」です。

中学時代に身に付ける「学力」は、**自らの進路を切り拓く**とともに、これからの人生で出会う**未知の困難に立ち向かい乗り越えていく**ための大切な力となります。

しかし、残念ながらすべての生徒が真剣に学業に打ち込んでいるとは言い難い現実があります。特に、課題と考えられるのは「**家庭学習**」です。やはり授業を受けただけでは学習事項は定着しません。学習事項を学力として定着するには、**授業を思い出して内容の理解を深めたり、繰り返し何度も練習して単語や漢字を正確に覚えたり**する時間が不可欠です。

ところが、家に帰るとゲームやスマホ等の誘惑が待っていて、家庭学習どころではなくなっている生徒が少なくないようです。中には深夜までネットゲームをして生活習慣が崩れ、睡眠不足で授業中居眠りしてしまう生徒もいます。

そこで、どうすれば家庭学習をがんばる雄中生に変身できるか、教職員で考えました。それが、この「**眠れる獅子 覚醒プロジェクト**」です。趣旨は、スマートフォンやゲームをするより「**家でも勉強したくなる**」授業をすることで、**子供たちのやる気を引き出す**こと。同時に、将来のカッコイイ自分をつくるために、**真剣に自分磨きに取り組む**たくなる働きかけ（キャリア教育）や高め合う仲間づくりも進めていきたいと思えます。

ご家庭でも温かい励ましをよろしくお願いいたします。

眠れる獅子 覚醒プロジェクト

令和3年5月 雄山中学校

- 立山の主峰「雄山」の名に恥じない学校づくり。知・徳・体で頂点を極めよ！
- 自ら進んで家庭学習に取り組み、自己を鍛える生徒を育てる。

授 業



家庭学習



「家でも勉強したくなる」授業とは？

【目標】【出番】【仲間】がカギ

「家でも勉強したくなる」動機とは？

【学習意欲】がカギ

- ①学ぶことの**意味や価値**を実感できる
(学ぶ意欲を引き出す仕掛け)
(カッコイイ未来の自分につながる学び)



- ①**目標**がある。将来の**夢**がある。
(こんな自分になりたい！だからがんばる！)
<キャリア教育>

- ②家庭学習の**努力**が生かされる課題
(例 毎時間の小テスト。やってきてよかった！)
生徒全員に**出番**がある授業
(授業中に話せる時間が確保されている。)



- ②授業の中で**活躍**できる。
(自分にも出番がある。次の授業が楽しみ！)
<対話のある授業>
<ペア・グループ・コの字型>

- ③やる気ある「**学習集団**」の形成
(勉強ブームの醸成)
(発表週間、英単語コンテスト等の学習行事)



- ③ともにがんばれる**仲間**がいる。
(仲間とともに成長したい！)
<協同的な学び>
<授業の中で**人間関係**を育てる>

令和3年度 雄山中学校「アクションプラン」 ～教育水準の向上を目指して～

年度ごとに教育活動の計画(Plan)を立て、それを実践(Do)、評価(Check)して、さらに改善(Action)を図り、教育水準の向上に努める——それがアクションプランです。

本校では、「かたる・まもる・つなぐ」の3つのキーワードを踏まえつつ、全教職員でこれまでの取り組みを見直し、新たに以下のような実践を進めることにしました。

生徒と教師が共に歩み、成長していける雄山中学校を創っていきたいと思います。



「自他と対話する生徒」

～「かたる」視点から～

- ・新聞コラムを活用した他者からの学びと自己の振り返り
- ・課題意識を喚起する記事を活用した言語活動の充実



アクションプラン

「自らの体験や考えを伝え合
うことができる生徒」の割合が
70%以上を目指す。

「人権を大切にする生徒」

～「まもる」視点から～

- ・身近なテーマから自他の人権について話し合う活動の推進
- ・「いじめ」を生まない学級、学年、学校づくりの推進



アクションプラン

「自らの内面的な成長が実感で
きる生徒」および「周囲へ思いや
りある行動をとろうとする生徒」
の割合が75%以上を目指す。

「進んで追究する生徒」

～「つなぐ」視点から～

- ・思いや考えをつなぐ活動の工夫と「学習ツール」の活用
- ・学びの見通しがもてる課題提示と授業展開



アクションプラン

「見通しをもって学習や活動に
取り組むことができる生徒」の割
合が70%以上を目指す。

総合的な学習の時間

～各学年の取組から～

1学年

1学年では、『富山の魅力、再発見!』というテーマで「地域調べ」について取り組んでいます。

小学校では、立山町についての調べ学習を進めてきた生徒たち。中学1年では、調査の対象を富山県にまで広げ、各地域の歴史や文化、産業等、大きく5つのテーマから個人課題を設定し、調べ学習を進めていきます。調べ学習を進めていくことで富山の魅力を見付け、郷土を愛する心を育てていきたいと考えています。



地域調べについてのプレゼンテーションを受ける1年生

2学年

2学年では、「進路学習」と「ソーシャルスキル」について取り組んでいます。徐々に生徒たちは進路を意識し始めているのではないかと思います。

日常会話の中に「高校」や「将来」といった進路に関する言葉が聞かれるようになりました。

学年では、上級学校のしくみを中学校と比較してみたり、実際の教育課程表をもとに各種学科の学習の進め方を確認したりしています。

また、生徒たちが社会に出て活躍するのも、すぐそこです。そのときに、堂々と活動できるよう「ソーシャルスキルトレーニング」も行っています。挨拶や人間関係の構築、他者と折り合いをつける方法など、社会性の発達に伴う様々な場面を想定して学習を進めています。



ロールプレイを通してソーシャルスキルを学ぶ2年生

3学年

3学年では、入学当初から継続して「課題追究学習」に取り組んできました。

1年次は立山町と県内の他地域を比べる学習を通して、地域に目を向けました。2年次は富山市・高岡市に分かれて班別学習を行い、視野を広げました。

そして3年次、生徒一人一人が「生き方を考える」という大テーマのもとで課題を設定し、自然や平和、産業といったサブテーマを設けて地域の発展や未来を考えた提案ができるように調べ学習を進めています。情報収集にタブレットを使いこなしている生徒が多く、発表会が楽しみです。



級友と情報交換をしながら調べ学習を進める3年生

存在感を示した！「雄中魂」 ～新川地区大会の結果～

6月12日（土）、13日（日）にかけて新川地区総合選手権大会が開催され、それぞれの競技会場では熱戦が繰り広げられました。雄山中学校の生徒たちも日頃の努力の成果を発揮し、それぞれの会場で「雄中魂」を周囲に印象づけていました。（掲載した結果は、すべての団体競技と県選手権大会に出場する個人競技です。）



★新川地区総合選手権大会

【陸上競技部】

男女総合1位
男子総合2位 女子総合1位

《男子》

共通400mリレー 3位
共通走高跳び 4位
1年走幅跳び 1位
共通砲丸投げ 4位
2年100m 4位
3年100m 1位
共通200m 6位
共通800m 1位
1年1500m 6位
共通1500m 1位
共通3000m 1位
1年400mリレー 5位

《女子》

共通400mリレー 1位
1年走幅跳び 3位
共通走幅跳び 2位
共通走幅跳び 5位
四種競技 3位
1年100m 4位
2年100m 2位
3年100m 3位
共通200m 4位
共通800m 3位
共通1500m 1位
共通100mハードル 1位
共通3位

【野球部】

2回戦 雄山 ●2-6○ 上市

【サッカー部】

1回戦 雄山 ●0-16○ 滑川

【ソフトボール部】

リーグ戦

- ①雄山・入善 ○15-4● 魚津西部
 - ②雄山・入善 ●1-11○ 魚津東部
 - ③雄山・入善 ○12-4● 滑川
- ◎リーグ2位で県選手権大会出場

【男子ソフトテニス部】

団体戦 3位決定戦
雄山 ●0-2○ 入善西
◎地区4位で県選手権大会出場

【女子ソフトテニス部】

団体戦 決勝トーナメント
1回戦 雄山 ●1-2○ 早月
個人戦 5位

【男子バレーボール部】

1回戦 雄山 ●1-2○ 上市

【女子バレーボール部】

2回戦 雄山 ●0-2○ 清明

【男子バドミントン部】

団体戦 決勝戦
雄山 ●1-2○ 上市
◎地区2位で県選手権大会出場
個人戦
シングルス 1位
ダブルス 2位
3位

【女子バドミントン部】

団体戦 決勝戦
雄山 ●1-2○ 上市
◎地区2位で県選手権大会出場
個人戦
シングルス 3位2名
ダブルス 2位
3位

【男子バスケットボール部】

1回戦 雄山 ●52-54○ 早月

【女子バスケットボール部】

3位決定戦
雄山 ●43-55○ 魚津西部
◎地区4位で県選手権大会出場

【水泳部】

100m平泳ぎ 1位
200m平泳ぎ 1位
100mバタフライ 1位
200mバタフライ 1位

【男子卓球部】

団体戦 決勝戦
雄山 ●1-3○ 魚津西部
◎地区2位で県選手権大会出場

【女子卓球部】

団体戦 決勝トーナメント
1回戦 雄山 ●0-3○ 入善西
個人戦 10位

【男子柔道部】

個人戦 3位
2位 2名

【女子柔道部】

団体戦 リーグ戦3位
雄山 ●0-3○ 明峰
雄山 ●0-2○ 早月
雄山 ●0-3○ 上市
雄山 ○2-0● 滑川
個人戦 1位
3位

【男子剣道部】

団体戦 決勝戦
雄山 ○5-0● 朝日
◎地区1位で県選手権大会出場
個人戦 1位
2位

【女子剣道部】

団体戦 決勝戦
雄山 ○5-0● 清明
◎地区1位で県選手権大会出場
個人戦 1位
2位
3位

【新体操部】

クラブ 2位
リボン 2位

★県中学校弓道大会

【弓道部】

団体女子 1位
◎全国中学生弓道大会に出場
個人女子 1位
◎全国中学生弓道大会に出場
2位
射技優秀賞